

## 学遊

かわら版

其乃参

平成拾貳年文月号

発行

ひたちなか市  
教育委員会  
生涯学習課☎029-262-4121  
内線/335・336

「家族は楽しいよ」と微笑むソロムコさん。

## Sweet Home

昭和35年、阪神タイガースに、初めての外国人選手マイケル・ソロムコさんが入団しました。阪神タイガース、移籍後の東京オリオンズでは、スラッガー(強打者)として鳴らし、豪快なスイングでヒットやホームランを連発して野球ファンを魅了しました。現在は日本人の奥さんとひたちなか市後野にお住まいです。

どのような家庭を作ってこられたか、子育ての教育方針などについて、ソロムコさんにお伺いしました。

目標や夢を抱くことは人生で大切なことですが、その前に親は子供を責任もってしつけなければなりません。子どもは小さな頃はテレビの影響を受けて、仮面ライダーのような強い者、ヒーローにあこがれます。しかし、それは幼児なら誰でも抱く、荒唐無稽な夢なのです。大人になるまでに現実即したしっかりとした夢を自分で立てられるよう、小さな頃から育てていかなければなりません。

子どものいうがままにモノを買い与えてしまう親があまりに多いと思います。子どもはこれでは、わがまま言い放題で、なんでも自分の思いどおりになると信じこんでしまいます。まるで、お金の印刷機がどこかにあって、いつでもなんでも勞せずにはいると考えてしまう、そんな子どもになってしまいます。そうやって親が甘やかす放題で無責任に育てた結果、長じて思いどおりにないことがあると切れてしまう少年がでてしまうんじゃないですか？ イージーに手に入れたものは、思い入れがありませんから全然大切にしません。大事にしないから、くれた人への感謝もない、何が大事か無気なのかもわからないまま育ててしまうのです。それは、大人がいけないと思います。日本人なのに箸の持ち方ができない子どもが増えました。これは、子どもがいけないのですか？ そうじゃないでしょう、大人がいけない。特に父親が日々の子育てにかかわること、しつけをすることから逃げてしまうからこうなるんです。

子どもが高校を卒業するまで、あるいは成人を迎えるまでは、親は養育する義務があります。親は必要なものをそろえて与える義務があります。しかし不必要なものは断じて与えてはなりません。私はNeed(必要)なものは買い、Want(欲する)ものは与えませんでした。子どもがどんなに泣き叫ぼうがです。物わがりのいい親、なんでも買い与えることが、決して子どものためにならないと信じていたからです。あえて子どもにとって「悪者」になった時も何度もありました。

食事もとても大切です。私は自分で鰯節を削って出汁をとって、みそ汁を作ります。ご飯を炊いている間のほんの数分のことです。多くの日本の家庭で、もはやそんなことをしなくなっているようです。なぜ、そんなささやかなことさえ、しなくなってしまったのでしょうか。「家族の健康のためになる」ことを放棄してしまうのでしょうか。

家族は、I(私)とYOU(あなた)ではありません。We(私たち)とUs(私たちのために)なのです。家庭作りは共同作業です。仕事・学校が終わったら、まっしぐらに帰りたい家。そんな家庭を作り出さなければいけない。今の日本のお父さんは、そういう意識が希薄だと思います。寄り道しないでまっすぐ帰ってください。(笑)

愛情とは、買うものではなくて、共同して作りあげていくことだと思います。